

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
H - 1	消防本部 総務課	消防団グループ

事務事業名	小型動力ポンプ及び消防団車輛(積載車・ポンプ車)購入事業							新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備							
	関連施策名(施策コード)	Ⅲ-7-12	自主的な防災活動及び防災教育の推進							
		Ⅲ-7-13	防災に関する組織の育成・強化							
事業内容(経緯)	小型動力ポンプ軽積載車2台、小型動力ポンプ4基を購入し、消防団機械庫に配備しました。火災をはじめ、各種災害発生時の機動力向上のため、整備・更新を行う必要があります。									
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	消防団車輛老朽化所持率	全46台に対する比率	%	21.74	21.73	17.39	17.39	32.60
		②	小型動力ポンプ老朽化所持率	全56台に対する比率	%	25.00	25.00	23.21	19.64	17.85
	③									
④										
事業対象	消防団および市民		成果	風水害時や火災時にも目立った故障はなく、市民の生命・身体・財産を守るという使命を十分に果たすことができました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	配備後、15年以上経過の車両、ポンプ数	老朽化率(15年以上経過の車両、ポンプ数19÷全102台)	%	23.53	23.52	20.58	14.70	23.80		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	14,179				14,100		79

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	老朽化した車両や小型ポンプを更新することにより、消防力を低下させずに、少人数での現場対応が可能になりました。今後更なる市民サービス向上のため、計画的な購入は必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	大規模災害や大火が発生した場合、消防本部のみで対応困難な現場への出動を依頼して、広報活動や災害対応が可能となります。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	今年度の台風災害時には事前点検や出動時の車両トラブルもなく、道路上の障害物撤去や情報収集に早期に対応することができました。また、団員数が減少する中、機械の力に頼るところは大きいと考えます。
事業の問題・課題	今後、消防団員の減少が危惧される中、少人数で消防力を低下させずにこれまで以上の市民サービスを提供するためには、最新型の機械の導入など、コスト面の課題が挙げられます。			
具体的な改善案	1つの作業を少人数で効率的に行え、コストパフォーマンスの優れた資機材の購入を行います。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	火災をはじめとした各種災害に対して、迅速に対応するために小型動力ポンプ及び車両の整備・更新を計画的に行う必要があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
H - 2	消防本部 総務課	消防団グループ

事務事業名	消防団消防機械庫新築事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備							
	関連施策名 (施策コード)	Ⅲ-7-12	自主的な防災活動及び防災教育の推進							
		Ⅲ-7-13	防災に関する組織の育成・強化							
事業内容 (経緯)	野津方面隊第3分団2部の消防機械庫の新築工事を実施しました。消防団の消防機械庫詰所61棟のうち、老朽化が進んでいる機械庫を新築し、効率的な出動体制の確立および災害時の団員の待機・休息場所を確保します。									
基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	消防機械庫の新築数	単年度整備数	棟	1	1	1	1	3
		②								
	③									
④										
事業対象	消防団	成果	建替前の機械庫は雨漏りなど老朽化が著しく、またトイレが無く不便でした。更に、駐車場も狭く出動の際、交通事故の危険があったが、広い土地への新築・移転により駐車スペースが確保でき、ストレスのない参集・出動体制を確保できました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
	整備後30年以上経過の機械庫数	整備後30年以上の老朽化率(全61棟)(30年以上経過の機械庫数31÷全61棟)	%	H29	H30	R1	50.81	50.81		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	22,897			4,623	17,200		1,074

評価の視点	評価	判断基準		理由		
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		大規模災害時に、消防団員の拠点施設である機械庫詰所がその機能を十分に果たすことによって、多くの市民の生命・身体・財産を守ることができます。	
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
			行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ない		
事業の問題・課題	海岸沿いや、山間部の建替が早急に必要と考えますが、老朽化が激しい機械庫との兼ね合いを十分に協議して計画を立てる必要があります。					
具体的な改善案	地元自治会や消防団と協議を行い、危険順位の高い機械庫を優先的に建て替えるように計画性を持って実施します。					

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	老朽化が進んでいる機械庫を新築することで出動体制の効率化を図り、地域防災の拠点となることが期待されます。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
H - 3	消防本部 総務課	庶務グループ

事務事業名		消防ポンプ自動車整備事業					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-21-49	救急体制・消防力の充実						
	関連施策名 (施策コード)								
基本項目	事業内容 (経緯)	消防本部に配備している消防ポンプ自動車を、公共5カ年計画に基づき更新整備するものです。配備後20年経過した消防ポンプ自動車を更新整備します。							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値
					H29	H30	R1		
		①	消防ポンプ自動車整備数	単年度整備数	台			1	
		②							
③									
④									
事業対象	消防職員及び市民	成果	消防ポンプ自動車を1台更新整備しました。火災時の機動力の向上と最新の装備品を積載したことにより、消防力が向上しました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
				H29	H30	R1			
	消防ポンプ自動車数(購入後20年以上経過)	購入後20年以上経過した消防ポンプ自動車の割合(全4台)	%	0	0	25	0	0	

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	56,100		10,364		45,700		36

評価の視点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	火災をはじめとする各種災害に対応するため、計画的な更新整備は必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	車両の更新とともに、最新の資機材も整備され災害対応力が向上しました。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	国庫補助金を活用し、一般財源の縮減に努めました。旧車両に積載している資機材で使用できる物は利活用し経費を抑えました。
事業の問題・課題	年次計画に基づき更新整備していますが、高規格救急自動車等、他の緊急車両の整備計画と合わせて計画を立てる必要があります。		
具体的な改善案	現在使用している車両の維持管理を徹底し、更新計画の見直しを行います。		

課長評価	見直し(縮小、休止、廃止)を検討する(見直し)	理由	車輛及び資機材の購入は終了しましたが、他の車両の更新時期等を検討します。
------	-------------------------	----	--------------------------------------